

5 ドメスティック・バイオレンスについて

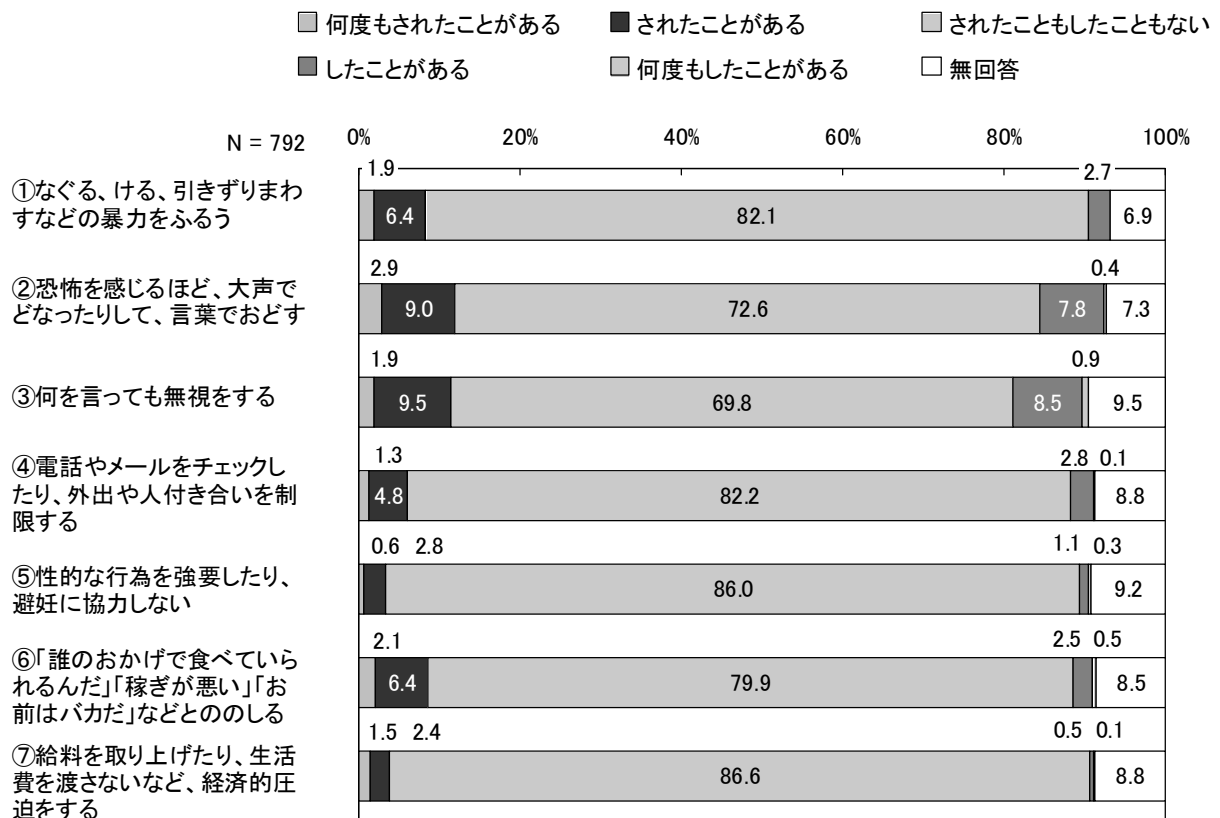
(1) DV（ドメスティック・バイオレンス）の経験

問 18 あなたは、配偶者（夫または妻）や親しい関係の人との間で、次のようなDV（ドメスティック・バイオレンス）について、されたことやしたことがありますか。
（各項目ごと1つに○印）

DV（ドメスティック・バイオレンス）の経験（全体）

DVの経験については、②恐怖を感じるほど、大声でどなったりして、言葉でおどす、③何を言っても無視をするといった、“言葉の暴力”や“心理的暴力”で「何度もされたことがある」と「されたことがある」をあわせた被害を受けた経験がある人の割合が高く、1割を越えています。

また、②恐怖を感じるほど、大声でどなったりして、言葉でおどす、③何を言っても無視をするで「したことがある」と「何度もしたことがある」をあわせたDVをした経験がある人の割合が高く、約1割となっています。

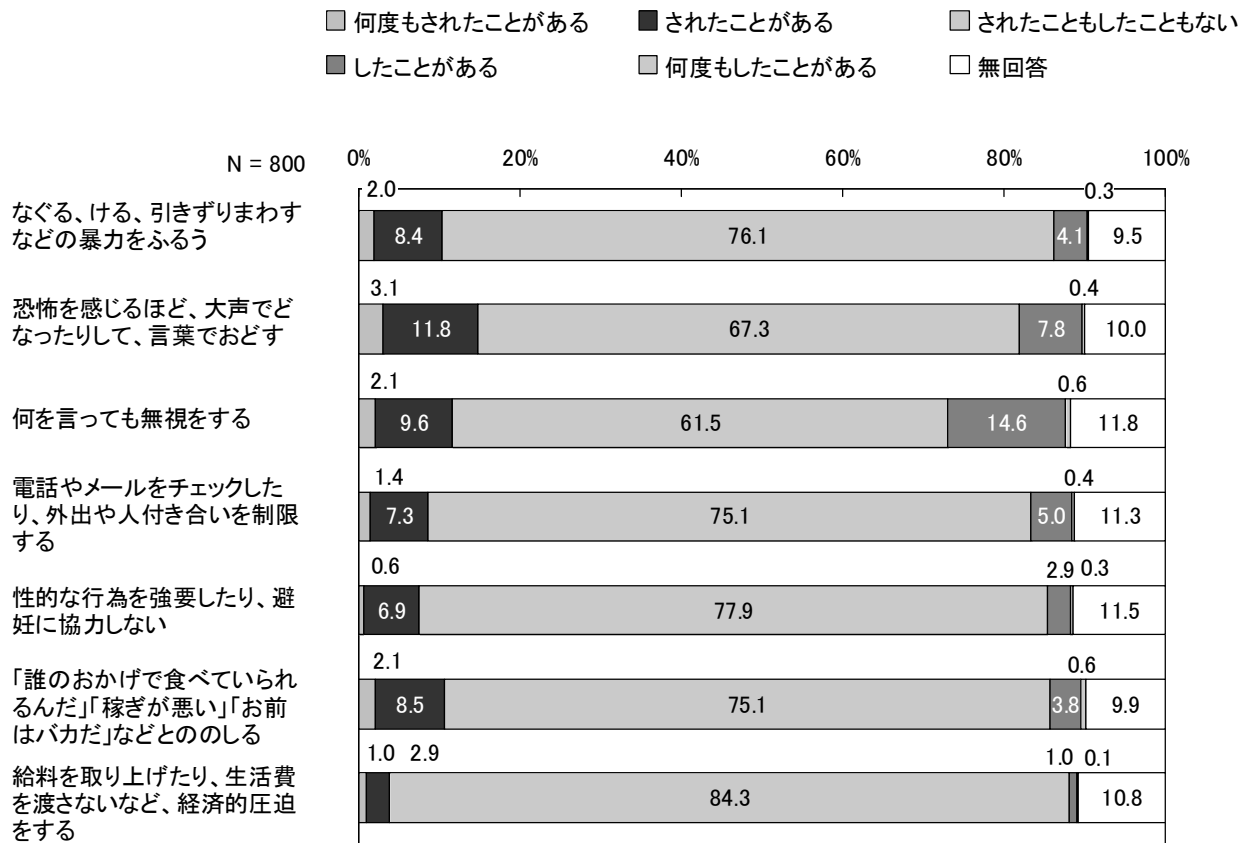


DV（ドメスティック・バイオレンス）の経験【平成17年度調査結果との比較】

平成17年度調査結果と比較すると、すべての項目で被害を受けた経験がある人の割合は若干低くなっていますが、依然としてDVによる被害がなくなっていないことがわかります。

参 考

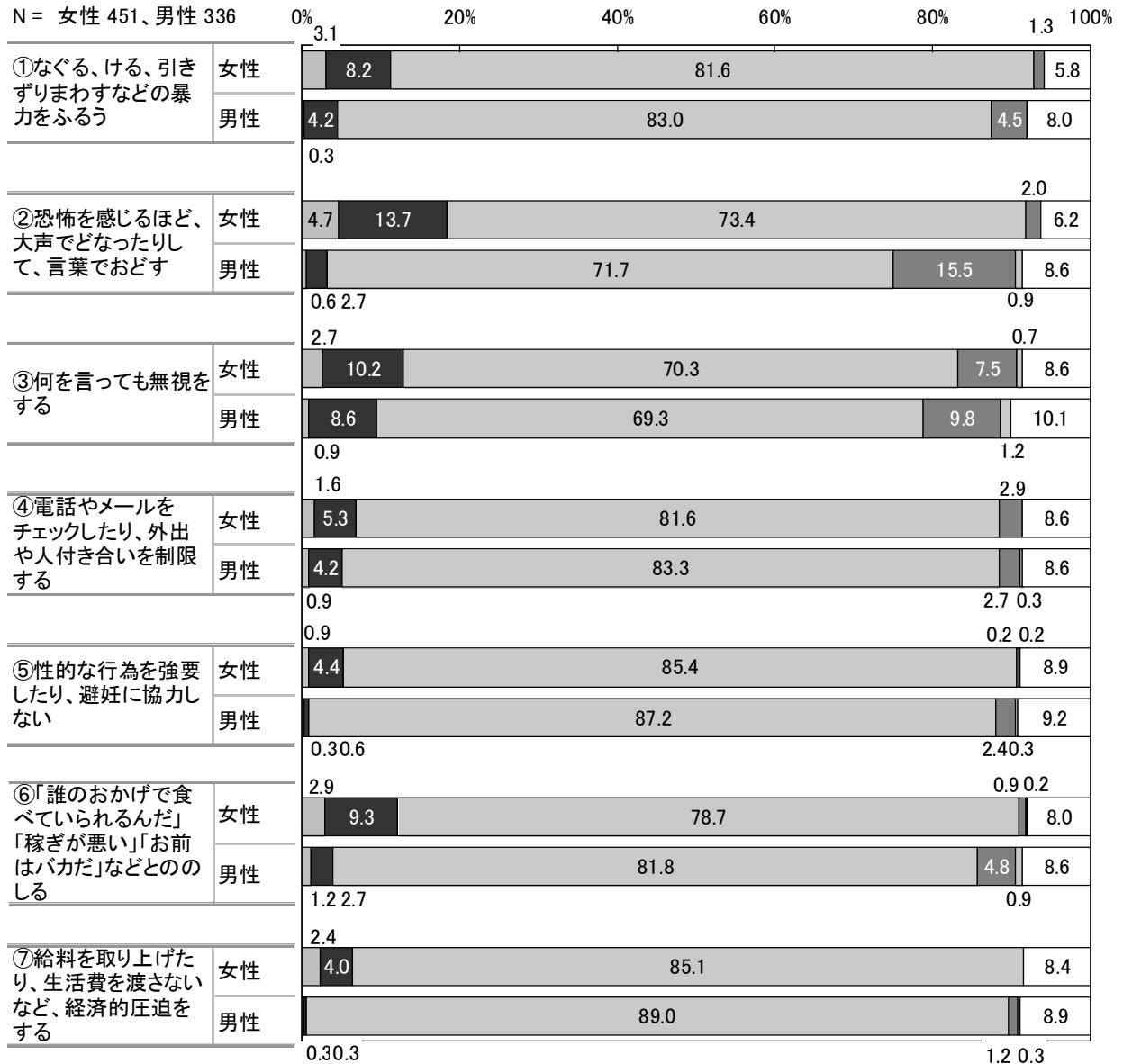
DV（ドメスティック・バイオレンス）の経験【平成17年度調査結果（全体）】



DV（ドメスティック・バイオレンス）の経験（性別）

性別で比較すると、①～⑦すべての項目において、DVによる被害を受けた経験がある人の割合は女性で高く、逆にDVをした経験のある人の割合は男性で高くなっています。

何度もされたことがある
 されたことがある
 されたこともしたこともない
 したことがある
 何度もしたことがある
 無回答



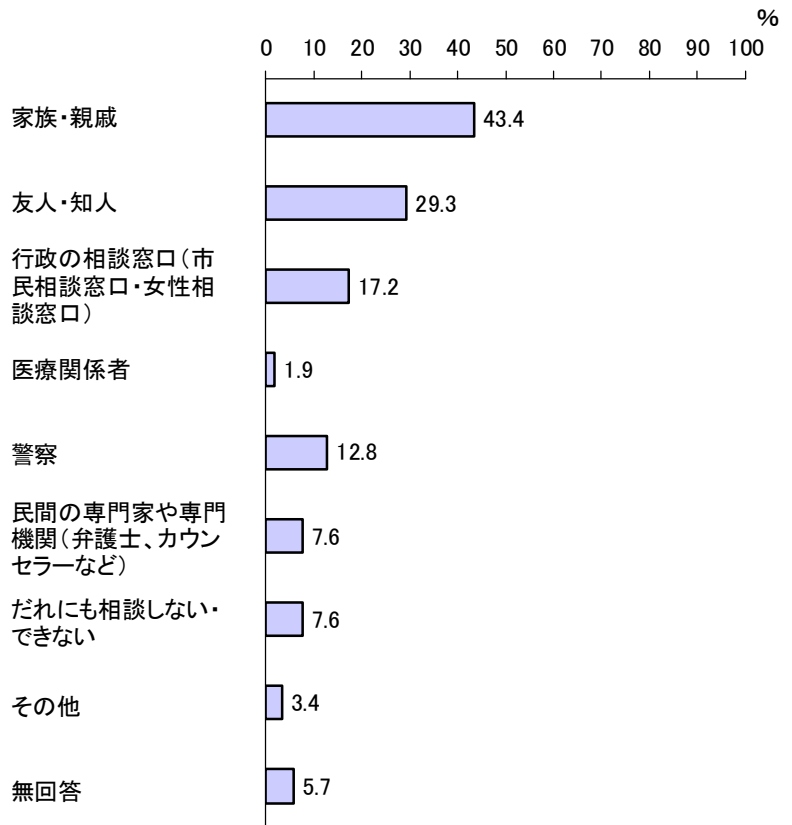
(2) DV被害の相談先

問 19 もし、あなたがDVを受けたら、どこに（だれに）相談しますか。

DV被害の相談先（全体）

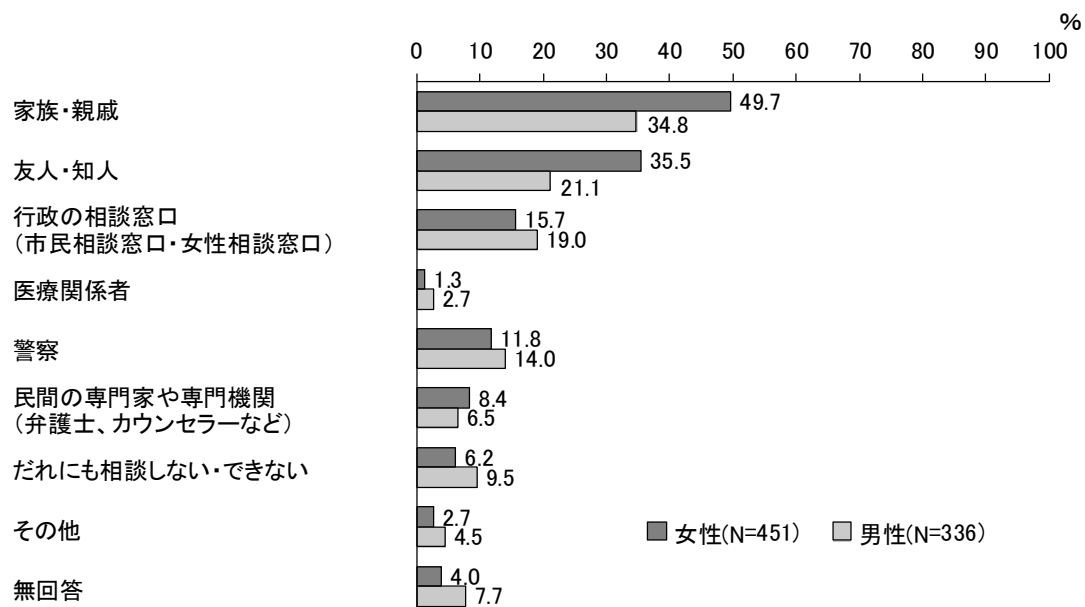
DVを受けた際の相談先について N = 792
 では、「家族・親戚」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 29.3%、「行政の相談窓口（市民相談窓口・女性相談窓口）」の割合が 17.2%となっており、公の相談窓口の利用意向が低いことがうかがえます。

DVについては被害者だけでなく、その周囲にも被害が及ぶ恐れもあり、相談者が安全に安心して相談できる窓口の認知度を高める必要性がうかがえます。



DV被害の相談先（性別）

性別で比較すると、女性で「家族・親戚」「友人・知人」の割合が高くなっています。



DV被害の相談先（性・年代別）

性・年代別で見ると、他の年代に比べ女性の20歳代で「家族・親戚」「友人・知人」の割合が高くなっています。一方で、男女とも70歳代以上で「友人・知人」の割合が低く、1割未満となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族・親戚	友人・知人	行政の相談窓口（市 民相談窓口・女性相 談窓口）	医療関係者	警察	民間の専門家や専門 機関（弁護士、カウ ンセラーなど）	だれにも相談しな い・できない	その他	無回答
女性 20歳代	56	64.3	50.0	8.9	3.6	14.3	7.1	5.4	—	1.8
30歳代	79	49.4	48.1	16.5	1.3	7.6	5.1	5.1	3.8	—
40歳代	74	48.6	45.9	16.2	—	14.9	10.8	2.7	4.1	—
50歳代	90	42.2	42.2	16.7	1.1	10.0	8.9	6.7	1.1	1.1
60歳代	89	55.1	21.3	20.2	—	12.4	10.1	7.9	2.2	4.5
70歳代以上	63	41.3	4.8	12.7	3.2	12.7	7.9	9.5	4.8	19.0
男性 20歳代	24	37.5	16.7	12.5	—	12.5	4.2	25.0	8.3	8.3
30歳代	43	37.2	46.5	20.9	—	4.7	7.0	9.3	—	2.3
40歳代	55	43.6	32.7	10.9	1.8	14.5	5.5	5.5	1.8	1.8
50歳代	60	38.3	11.7	21.7	1.7	16.7	6.7	16.7	—	1.7
60歳代	80	30.0	20.0	28.8	1.3	13.8	6.3	5.0	8.8	8.8
70歳代以上	74	28.4	8.1	13.5	8.1	17.6	8.1	6.8	6.8	18.9